

広報

わかさ

Public-relations Wakasa



5月5日の子どもの日に開催された小川朝市まつり。
子どもたちは逃げる魚を必死に追いかけていました。

6

2006

No. 14

音響にこだわった音楽ホール
 児童書をたくさん取りそろえた図書館
みんなで盛り立て、みんなで楽しむ



Para Wakasa
パレア若狭 グランド
オープン
 しゅん式や記念イベントを開催

4月 21日、福祉・保健総合拠点施設「パレア若狭」のしゅん式が開かれ、関係者ら約200人が開館を祝いました。式では千田町長が「子どもからお年寄りまで幅広く楽しめる施設になった」とあいさつ。飯島義雄副知事も「パレアはギリシャ語で交流を意味する。嶺南地域の宝として交流の場となるよう期待している」と祝辞を述べました。また、21日から23日まで音楽



ホールではコンサートや公演、館内では健康を考えるつどい、紙芝居、若狭町幼児作品展などさまざまな記念イベントを開催。3日間で5,000人近い人が施設を訪れ、にぎわいを見せていました。

親子 連れなどでにぎわったパレア若狭図書館は、児童書や実用書が充実しているほか、お話しコーナーや自習スペースも設けられています。DVDやビデオ観賞用のスペースでは、子どもたちがアニメや映画などを楽しんでいます。



長生きして良かったと感謝しています。

音響がすくく良く心地良くて気に入りました。

トイレの洗面でお湯が出るのが嬉しい。

若狭町に住んでいて良かった。

スタッフは心から尽くして対応してくれました。

田んぼの中の大都会を感じた。

クラシックを聞くときのルールをゆっくりに教えるのがいい。

素晴らしい音楽・文化の環境があり、ホールが子どもたちを育ててくれると思います。

仕事の疲れが癒された。

一流の音楽ホールが完成し、音楽に対する住民の意識が高まるでしょう。

ピアノがこれほど心を打つとは…涙が出ました。

オープニングコンサート後に協力いただいたアンケートの感想から

21日の記念式典では、ピアニスト・今川裕代さんと鳥羽小学校の児童が共演。今川さんの演奏に合わせて「この星に生まれて」を合唱しました。約1,500万円で購入したスタインウェイのピアノ開きを行った今川裕代さんは、「子どもたちが弾いても優しく答えてくれるピアノ。このピアノから聞く喜び、奏でる喜びを感じてほしい」と観客に話しました。

む施設



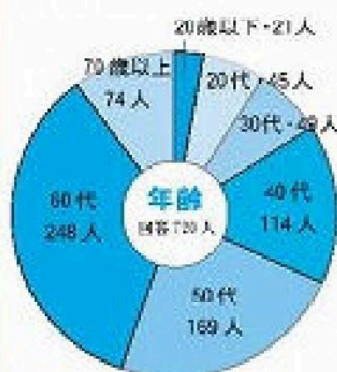
創作 スタジオでは陶芸教室が行われ、埴文土器風の焼き物に挑戦。「陶芸のおもしろさに目覚めたかもしれない」と話す参加者もいました。また親子陶芸教室も行われ、魚やカモといった三方五湖にすむ生き物をイメージした焼き物を作りました。

AED (自動体外式除細動器)の講習会も開かれ、若狭消防署職員に教わりながら、たくさんの方が使い方や救急法を学びました。参加者は、「AEDが音声で手順を指示してくれるので簡単。講習を受けておくと自信が付き、いざという時に役立つと思う」と話していました。

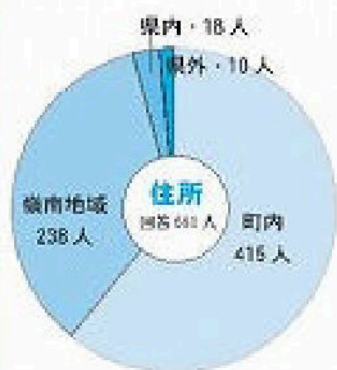
22日にはソプラノ歌手・天羽明恵さんを招いたコンサートを開催。飯森範親さん指揮のもと、オーケストラ・アンサンブル金沢のメンバーとの共演は、会場を埋め尽くした観客を魅了しました。この日のために町内のコーラスグループらで結成した合唱団も舞台上で歌声を披露しました。



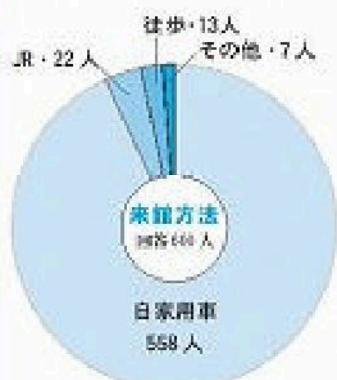
音楽ホールでの3日間のオープニングイベントにお越しいただいた方を対象にアンケートを実施。来場者の傾向を分析しました。



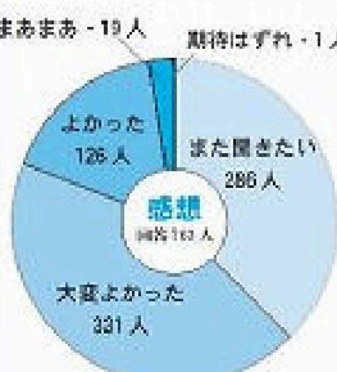
●全体の約7割が50代以上の方で、主に3日目・古典舞踊が人気でした。
●40代・30代の方には2日目のこけら落とし公演が人気でした。



●約7割が町内の方でした。地域で支えなければとの声も。
●県外では東京や大阪、熊本という回答も。出演者のファンでしょうか。



●小路線を利用した方は意外と少なかつたようです。上中駅からバリアフリーで徒歩5分なので、利用するのでもいいですね。



●ほとんどの方に満足していただいたようです。今後どのような内容を希望しますかとの問いに、約半数がクラシックと回答。室内オーケストラや組曲などを聞いてみたいとのことでした。

Para Wakasa パレア若狭

創作スタジオで陶芸をしてみませんか 「陶芸講座」受講生募集

講座 (若狭ものづくり美学会と共催)

コース	開催日	講師	受講料
入門コース① 6月15日～9月7日	毎週木曜日 14:00～16:00	清水康江	一括前払い 6,000円
入門コース② 6月10日～8月26日	毎週土曜日 14:00～16:00	清水康江	一括前払い 6,000円
入門コース③ 6月12日～(約1年)	毎週月曜日 19:00～21:00	亀井 浩	月払い 2,000円

※受講料のほかに、粘土代1kgあたり1,000円必要です。

(入門コース①、②は5kg使用)

※入門コース①、②は手びねりで3か月12回のコースです。この後、初級・上級コースへステップアップします。

※入門コース③は受講者に応じて入門～上級までのプログラムを組みます。



■定員 各20人

■申し込み締切 6月7日(水)

●申し込み先

パレア若狭管理課
(TEL 0770-62-2508)

※「若狭ものづくり美学会」に申し込まれた方は、申し込みの必要はありません。

陶芸体験

どなたでも陶芸が体験できる「陶芸体験」も開催しています。定員は各30人です。

日時	受講料
毎週木曜日 10:00開始	大人200円
毎週土曜日 10:00開始	小人100円
毎週日曜日 13:00開始	粘土代1,000円

※事前にご予約ください。ただし予約がなくても当日に空きがあればご利用いただけます。

※時間までにお集まりください。陶芸作成時間は約1時間30分で、作品の完成は約1か月後となります。

その他

講座、陶芸体験開催時以外はパレア若狭創作スタジオを貸し出しします。サークル活動などにご利用ください。

■団体の陶芸体験をご希望の場合は、必要に応じて講師が指導します。

■5人以上の団体で年間30,000円の使用料をお支払いいただくと、何回でも(週3回限度)利用できます。



通信カラオケが楽しめる!

音楽スタジオ

■使用料 1時間500円(18:00以降は1時間1,000円)
※5人以上の団体の、年間30,000円の使用料をお支払いいただくと、何回でも(週3回限度)利用できます。

■利用方法 5人以上の団体でご利用ください。
(中学生以下は保護者同伴)

「上妻利弘」展

5月27日(土)
～6月15日(木)

ギャラリー

上妻利弘...木彫家。熊本県在住。森の中で油彩作品の制作を手がけ、バード・ネイフカービングの指導をしながら九州を中心に個展を開く。

6月10・11日

プラスフェスティバル in WAKASA VOL.1

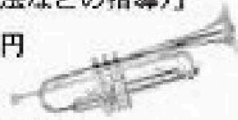
吹奏楽界の大御所・多戸幾久三氏(元NHK交響楽団)のコーディネートによる豪華プログラム。

■10日「クリニック(奏法などの指導)」

一般1,000円 学生500円

15:00～(中学生対象)

17:00～(高校生+一般対象)



■11日「金管五重奏コンサート」

一般2,000円 学生1,000円

開演 14:00

吹奏楽の経験者はもちろん、これから演奏を始めてみたい方も必聴です。コンサートでは、なじみのある名曲を、迫力ある超一流生演奏でお楽しみください。

チケット好評発売中

7月22日 19:00開演



琵琶の音でつづる

小泉八雲の世界

一般3,000円 学生1,500円

夏の暑さを忘れて、怪談「耳なし芳一」などでひとときの“涼”をお楽しみください。

チケット好評発売中

9月10日 14:00開演

江守徹の朗読と

音楽の旅路

一般3,000円 学生1,500円

俳優・江守徹の朗読に、作曲家・笠松泰洋の音楽が彩りを重ねます。

6月12日(月)

チケット発売予定



FM番組「ベストオブクラシック」公開録音

若狭町とNHK福井放送局では、パレア若狭の開館を記念してFM番組「ベストオブクラシック」の公開録音を実施します。観覧をご希望の方は次の要領でお申し込みください。

日時 6月25日(日)

(予定) 開場 14:30～

開演 15:00～(終演予定 17:00)

会場 パレア若狭音楽ホール

出演者 二期会マイスターズ・ジンガー

演奏曲 ・モーツァルト『魔笛』Pa・Pa・Pa]

・宮沢和史『鳥歌(沖縄)』などを予定

放送予定日 7月3日(月) 19:30～21:10

※二期会マイスターズ・ジンガー・・・会員2,000人を超えるクラシック音楽家グループ「二期会」の中から選ばれたアンサンブルグループ(8名構成)。

●問い合わせ

NHK福井放送局 (TEL 0776-28-8850)

パレア若狭管理課 (TEL 0770-62-2508)

観覧者募集

■観覧申し込み方法(入場無料)

往復はがきの往信用表面は①郵便番号②住所③名前④電話番号を、返信用表面は①電話番号②住所③名前を記入してお申し込みください。

※申し込み多数の場合は抽選となります。

※当選はがき1枚で1名入場できません。

※小学校就学前のお子さんのご入場はご遠慮ください。

■申し込み先

〒910-8680 福井市宝永3-3-5

NHK福井放送局「ベストオブクラシック」係

■締め切り

6月9日(金) 必着

※ご応募の際にいただいた情報は、抽選結果のご連絡に使用させていただきます。

まちの話題

私を作っています！

かみなか農楽舎の研修生がお米づくりを実践中

「かみなか農楽舎」で農業を学ぶ研修生のほとんどは東京や大阪といった都会の若者たち。その研修生が下夕中や安賀里などで米づくりを実践中です。地域の人に親んでもらおうと、研修2年生がこのような看板を設置しています。「米づくりの指導をお願いします」と研修生。作業している姿を見つけたら声をかけてみてください。



田んぼ脇に立てられた顔写真付きの看板

街道の歴史を物語る石柱

三宅と市場の境に石柱を復元

このほど集落の境を示す石柱の下部が発見され、町教育委員会が補修し、元の場所に設置しました。この石柱は高さ60cmほどで、明治21年の町村制公布以降、若狭街道沿いに立てられていたとみられています。



これまでに発見された天徳寺と井ノ口、三宅と飯屋の境の石柱も住民の協力で復元しており、熊川や井ノ口に元々残っているものを合わせて5本が保存されています。

バレア若狭近くに立てられた石柱には「若狭道」、「三宅村市場」、「三宅村三宅」の文字が刻まれている。

あれから丸9年 決意新たに

特定失踪者・宮内和也さんの真相究明を願う集会(4/24)



「温かい支援を」と呼びかける父・和見さん

旧三方町職員・宮内和也さんが勤務中に行方不明になってからちょうど9年目となったこの日、真相究明を願う集会が三方庁舎で開かれました。集会には和也さんの両親や町職員ら約80人が参加。元同僚が失踪前の人柄や当時の状況を説明するなど、1日も早い解決を願いました。父・和見さんは、「1日も早く明るい兆しが見えるよう今後も大会や署名活動を続けていきます」と決意を新たにしました。

※広報紙に「あなた」が写っていましたら役場企画情報課にご連絡ください。写真を差し上げます。(TEL0770-45-9110)

守ろう “近畿一” の座

北川に啓発垂れ幕が設置されました

町内を流れる北川は、近畿地方整備局管内の1級河川で一番きれいな川といわれています。これまで23年間、水質調査で近畿一の座を守り続け、平成13年には実質的に日本一きれいな川としても認められました。この名誉ある川が町を流れていることを流域住民が語りを持ち、環境保全の意識を高めるために、若狭町と小浜市で構成する「北川改修促進期成同盟会(会長・村上小浜市長)」が国土交通省に要望。今回の設置につながりました。

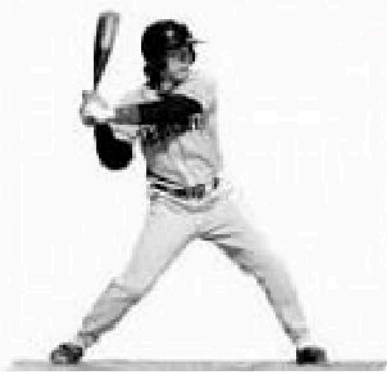
三宅橋付近に設置された垂れ幕



大鳥羽FS サヨナラ勝ち

第2回若狭町長杯争奪軟式野球大会開幕(5/2)

第2回若狭町長杯争奪軟式野球大会の開幕式が三方グラウンドで行われました。参加チーム数は、1部が10チーム、2部が10チーム。今大会から三方・上中支部を廃止し、町で統一したリーグ戦が7月ごろまで展開されます。開幕試合では大鳥羽FSと世久見が白熱した試合を展開。大鳥羽FSリードで迎えた最終回、世久見が同点に追いつきましたが、その裏見事なサヨナラ勝ちで大鳥羽が4-3で勝利を取めました。



昔を体験 今を見学

野木小学校児童が田植え学習(5/11)

野木小学校の5年生10人が、小学校近くの田んぼでコシヒカリの手植えに挑戦しました。野木地区のボランティアの方に植え方などを教わり、泥に手足をとられながらも楽しく体験。早くも9月の刈り取りを楽しみにしていました。野木小では毎年田植え体験を行っていますが、今年は初めて産業用無人ヘリコプターが登場。ヘリコプターによる種まきを見学し、今と昔の田植え方法の違いも学びました。

無人ヘリコプターの種まきを見学



地区の方に教えてもらいながら田植えをする児童ら

山育ちの子 漁業を体験

漁業体験学習の受け入れ始まる(5/11)



初体験の魚さばきに苦戦する生徒

町内にある漁村では、漁業を体験する場として県内外の小・中学生を受け入れています。平成元年から始まった受け入れは利用校が年々増え、昨年度は約5,500人の子どもたちが体験に訪れました。今年度初めての受け入れとなった5月11日には、岐阜県の真正中学校の生徒115人が入村。魚の干物づくりや養殖場のえさやりなどを体験しました。干物づくりに挑戦した生徒は、「初めて魚をさばいた。ヌルヌルしていて難しい」と苦戦しながらも、「もう1匹さばくぞ」と目を輝かせていました。

環境にやさしい農業者です

エコファーマー認定証授与式(5/11)

環境にやさしい農業に取り組む生産者の栽培計画が良知事に認められ、町内で25人のエコファーマーが誕生しました。三方公民館で行われた認定証授与式には関係者ら約30人が出席。嶺南振興局二州農林部の田中秀夫部長から一人ひとりに認定証が手渡されました。認定された25人は次のとおりです(順不同・敬称略)。

川崎一枝(倉見)、山口みな枝(倉見)、木下八重子(白屋)、谷口澄江(白屋)、中村好子(白屋)、村田智(能登野)、高橋敏郎(井崎)、下南恵美子(若屋)、瀬尾スミ(岩屋)、瀬尾スミ子(岩屋)、兵田トシ子(岩屋)、上下みね子(若屋)、吉村春子(相田)、河村信子(相田)、常田和子(藤井)、百田博美(藤井)、河原しず(向笠)、中西悦子(向笠)、松村いさ子(鳥浜)、宇野タキ子(鳥浜)、中村保江(成出)、田辺登志枝(成出)、赤尾マサ子(成出)、大下節子(世久津)、西村初枝(海山)

認定者を代表して謝辞を述べる大下節子さん

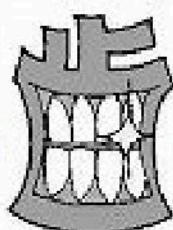


受講生や関係者ら約120人が参加して行われた開学式。駅舎の一部を改装し、パソコンなどが設置された部屋がある。

学びたい人のための学会 開学

若狭ものづくり美学舎開学(5/14)

「若狭ものづくり美学舎」が開学し、校舎がある大鳥羽駅で開学式が行われました。同美学舎では、子どもからお年寄りまですべての人に美術制作や自然体験、陶芸やパッチワークなどの講座を提供。幼児向けの絵画や、中高生向けの数学や英語の講座もあります。現在、受講生は約100人で、講師を務める専門家や元教員らによって、5月15日から講座が始まりました。問い合わせは若狭ものづくり美学舎(Tel.0770-64-1788)へ。



歯を失う原因の約90%は歯周病と虫歯です。歯を失わないためには歯周病と虫歯の予防をしましょう。



歯のコンテスト

- 虫歯チェック**
- 歯の表面に白いしみのようなものがあったり、溝の部分が茶色っぽく着色している。
 - 冷たいもの、風がしみる。
 - 熱いものがしみたり、ものをかむとズキズキ痛む。
 - 歯冠部（外に見えている部分）がほとんどなくなり、根っこの部分だけ残っている。

歯周病と虫歯を予防する 8つのポイント

- ①よくかんで食べる
かむことで唾液の量が増え、歯垢を付きにくくする。
- ②栄養バランスのとれた食事
歯を丈夫にするためにバランスのとれた食生活が必要。
- ③同食は時間を決めて
飲食回数が多いとそれだけ虫歯の原因となる糖に、歯がさらされている時間が長くなる。
- ④禁煙する
たばこを吸うことで歯茎が血行不良となり、細菌に対する抵抗力が低下する。
- ⑤規則正しい生活を心がける
- ⑥正しい歯みがきをマスターする
- ⑦かかりつけ歯医者を見つける
- ⑧定期健診を受ける
個人に適した定期健診の時期は歯科医と相談を。

- 歯周病チェック**
- 歯茎の色が妙に赤っぽかったり、紫色がかっている。
 - 歯茎の形が厚みをもって膨らんだ状態である。
 - 歯茎を触ったときにプヨプヨしていて締まっていない。
 - ちよつとしたことで歯茎から出血する。
 - 口の中がすつきりせず、ネバネバしている。
 - 以前と比べて歯と歯のすき間が開いてきたような気がする。
 - 自分で自分の口のおいが気になる。

歯のコンテストはまるなら要注意！

歯のコンテスト若狭分会 最優秀賞は香川啓太君、河村奈々美さん

5月10日、第50回福井県歯の少年少女コンテスト若狭分会審査会がバレア若狭で開かれました。町内11小学校6年生の代表12人が参加。上中病院歯科医の松本謙直医師が審査員を務め、歯並びや歯の健康状態などをチェックしました。

歯のコンテスト結果

- 男子 / 最優秀賞・香川啓太（鳥羽小）
第2位・宮川央（明倫小）
第3位・澤村俊（三方小）
- 女子 / 最優秀賞・河村奈々美（明倫小）
第2位・松本遙（岬小）
第3位・大木楓（鳥羽小）（同点賞）



香川君

最優秀賞



河村さん

最優秀賞

最終回

集落・自治会を紹介 新しいまちを知ろう

※人口・世帯数は平成18年5月1日現在のものです。



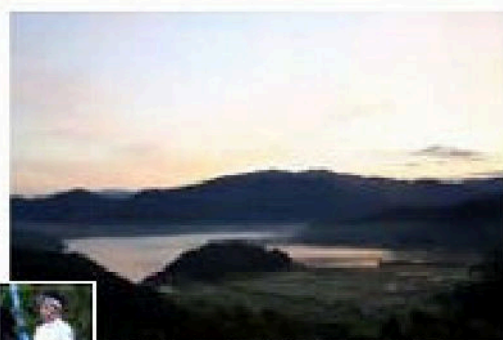
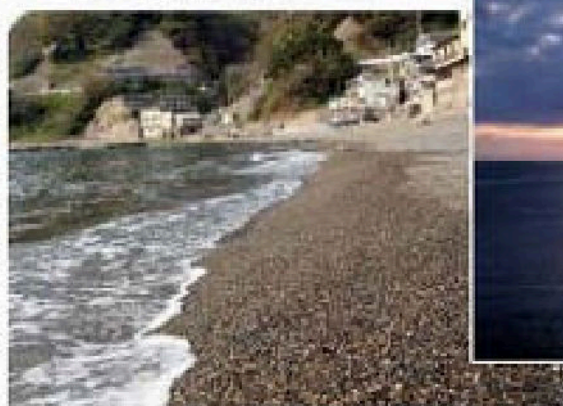
塩坂越・しゃくし

人口 70人

世帯数 19世帯

塩坂越と海山をつなぐトンネルがなかった大正時代まで、塩を背負って坂を越えていたことから名付けられた集落名だといわれています。塩坂越海岸の砂浜は常神半島では唯一手を加えていない自然な砂浜で、岩や松、水平線に沈む夕日などの美しい調和が観光客を魅了します。

昔からの砂浜が残るこの塩坂越から町内の民宿業が始まりました



元気良く囃子を奉納する子どもたち！



↑集落内の山からの眺めは絶景。手前は田井野、奥が三方湖。

世久津・せくず

人口 88人

世帯数 25世帯

世久見トンネル手前の集落で、前に広がる田園や三方湖の眺めが絶景です。今の季節、湖からのさわやかな風が区民の心身をリフレッシュさせてくれます。その昔、田井島の頂上にあつた大泉寺おひらひらの僧侶がこの地へ移り住んだことが、世久津の始まりだといわれています。

田立・ただち

人口 89人

世帯数 23世帯

今年4月18日に行われた「多由比神社(別庄)」の祭礼では当屋区を務め、子どもからお年寄りまで一致団結して祭りを盛り上げました。集落の西南山嶺の電泉寺谷に約1,200年前に建立された電泉寺の跡があり、そこへの登山口となった場所には、今でも「茶の前」という泉が残っています。



多由比神社祭礼で当屋を出発する区民



上瀬・うわせ

人口 297 人

世帯数 98 世帯

上瀬区は、約 60 戸の住宅と町営住宅が立ち並ぶにぎやかな団地で、平成 8 年に発足した新しい集落です。周辺には菅湖や久々子湖があり自然に恵まれ、国道 27 号線や梅街道、JR 気山駅に隣接。病院、保育所、小学校、高校なども近くにあり、便利で住みやすいところです。



便利で住みやすい集落です

集落センター周辺にある桜が
春の訪れを華やかに告げてくれます



田井野・たいの

人口 147 人

世帯数 38 世帯

西田地区では人数が多い集落で団結力があり、ツデーマーケットでの茶屋運営や地区体育祭などでは力を発揮してきました。集落内で発見された「田井野貝塚」からは、縄文土器や石器などが出土していることから、縄文時代前期から人々が生活していたとされています。

あじさい団地

人口 228 人

世帯数 72 世帯

雇用促進住宅あじさい団地は上中駅西側の井ノ口地係にあります。昭和 58 年に、住宅対策と人口増加対策の一環として鉄筋コンクリート建て 3 棟が完成。80 世帯が入居できます。旧上中町の町花「あじさい」を名称にして行政区となりました。



上中駅の西側にあるあじさい団地



今月号をもって、町内で 85 ある集落をすべて紹介することができました。ご協力いただきました集落の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

和

～なごやかに～

若狭町長 千田千代和

「きらりと光る人間性」

「きらりと光るものは何ですか」。4月25日、合併から1年を振り返っての取材のため来訪された新聞記者からの問い。私は、「人間性の良さです」と何のためらいもなく答えました。

合併前から旧両町の人間性はよく似ていると多くの町民が感じていたことだと思います。合併に関する旧上中町の住民投票には少し不安を抱えましたが、合併後、数多くの機会を通じて会話する中で、気安く話しができるほどのほのとした人間性に安らぎを覚え、合併して良かったと感じています。

4月22日、パシア若狭オープン2日目の「オーケストラ・アンサンブル金沢」のコンサートを聞きに行きました。共演者のひとり、ソプラノ歌手の天羽明恵さんはあいさつの中で、「出演前に近くを散

歩していると『こんにちは』と子どもたちが私にあいさつをしてくれた。私は国内外で活動しているがこんなほほえましい機会に出会ったことがない。素晴らしい町です」と満席の聴衆者を前に話されました。

3年前、当時美万高校の校長をされていた覚田先生が来訪された時にも、「美万高校の生徒は素晴らしい」とお褒めの言葉をいただいたことがあります。「なぜですか」と問うと、覚田校長は、「毎朝校舎の玄関で登校を見守っていると、生徒全員が『おはようございます』と気持ちの良いあいさつをしてくれる。長い教員生活で各地を回っているが、このようにきちんとあいさつのできる学校は初めてだ」とのお話しを聞きました。

私からみれば当たり前のことだと思っていました。しかし、他の地域にはない光景だと聞いて驚いた反面、改めて地域の人間性の素晴らしさを実感しまし

た。家庭や地域の皆さんが育み、長年築き上げられたこの無形の大きな財産に感謝します。

上下水道、道路、ごみ処理施設など生活基盤の整備やケーブルテレビやインターネットなどの情報の整備、食生活などがどんなに豊かになっても、町を守り、発展につなげる原動力となっているのは、住む人の力であり、住む人の人間性だと思います。

社会が荒れている今日ほど豊かな人間性が望まれる時はありません。そのような社会の中、世界に認められた三方五湖をはじめとする恵まれた「自然」、鳥浜貝塚や熊川宿、藤原などの「歴史や文化」、佐久間艇長や松木庄左エ門など先人たちの「郷土愛や人間愛」、これらを誇りにし、次世代に繋げる人間性豊かなまちづくりを目指さなくてはなりません。そして、「きらりと光るもの」にさらに磨きをかけなければと思う今日この頃です。

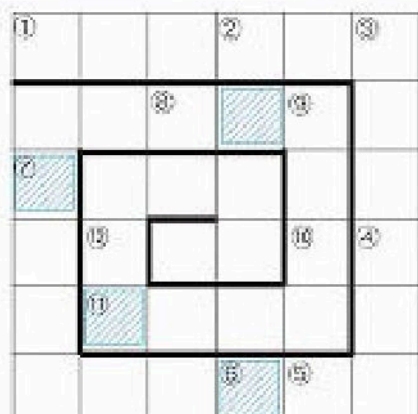
広報クイズ

しりとりのずまきクイズ

■応募方法■ キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。4つある青いマス（図参照）の文字を並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想やご意見、住所、氏名を書いて「〒919-1393 若狭町役場企画情報課」（住所は省略できます）まで送ってください。E-mailでも受け付けます（kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp）。正解者の中から抽選で10人に図書券が当たります。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。締め切りは6月16日（金）必着です。

◇キーワード◇

- ①6月の花嫁。ジュン〇〇〇〇。
- ②いよいよ始まります。サッカーワールドカップ2006の開催地。
- ③6月4日はわかさあじさいマラソン。〇〇〇〇止めにご協力を。
- ④バスト。〇〇〇〇。トップ。
- ⑤高知県の旧国名。
- ⑥孫悟空などと天竺を目指した僧。
- ⑦おじいさんは山へ〇〇〇〇に、おばあさんは川へ洗濯に。
- ⑧時速500kmで走行する鉄道車両。〇〇〇モーターカー。
- ⑨大鳥羽・上中駅の間。若狭〇〇〇駅。
- ⑩種ロー菓の代表作。
- ⑪長さ860mの横浜〇〇ブリッジ。
- ⑫荒川静香選手の得意技。



ヒント：もうすぐ町の特産・梅の収穫が始まります。

こたえ

『〇〇〇〇』

広報クイズ5月号の答え「モーザルト」 ①ゴールデンウィーク ②クマガワ ③ワールドベースボール ④ルネッサンス ⑤スモウ ⑥ウメ ⑦メダリスト ⑧トリビア